



### 千人に対応できる 災害時備蓄基地を

工藤 正廣 (明政一心会)

**議員** 災害時に備えて備蓄基地を建設する考えはないか。

また、災害時の弱者救済はどうなっているのか。

**市長** 毛布、非常食等は地域包括支援センターの一室に、土のう等は赤沼地区の水防車庫に備蓄しており、今後備蓄すべき物資や機材については、災害対策本部員会議で継続的に協議していくことになっています。

備蓄基地については、必要となる物資や機材が現在の施設では賄い切れないことが想定された場合には、他の遊休施設の活用などを検討していきたいと思えます。

**健康福祉部長** 平成二十一年四月から、高齢者、障害者などの要援護者を対象とした災害時要援護者支援事業を実施してい

ます。この事業は、要援護者の申請に基づき台帳を整備し、それを消防本部

民生委員、町内会、消防団に毎年配布して、平常時から関係機関が情報共有し、災害発生時に各関係機関の連携のもと、避難誘導、安否確認などの支援体制をとるものです。

今後は、町内会を初め、民生委員、関係機関との連携を密にし、要援護者に対する支援が迅速かつ円滑に行われるよう、より具体的な支援体制の充実に向けて取り組んでいきたいと考えています。



十和田湖総合運動公園体育館

### 十和田湖総合運動公園 体育館のフロア改修を

**議員** 旧十和田湖町体育館のフロアを改修してほしい。その考えを問う。

**教育部長** 十和田湖総合運動公園体育館は、昭和四

十八年に建設された床暖房構造の施設で、平成九年に床改修工事を行っていますが、フローリングの下がコンクリートであること

から、床は弾力性に乏しく、激しい運動をした際の足腰への影響が懸念されています。しかし、改修には相当額の費用が見込まれることから、現状の施設機能でのスポーツ練習場として引き続き活用していきたいと考えています。

### 焼山地区の 消火栓整備計画は

舛 甚 英文 (日本共産党)



**議員** 焼山地区にはホテルなどがたくさんあるが、消火栓が設置されていない。今後の計画はどうなっているのか。

**市長** 現在焼山地区には、消防水利として防火水槽が四基、消火栓が一基設置されています。河川や農業用水もあります。季節によって使用できない場合もあり、消水利は不足している状況です。消火栓の設置について

は、現在水道の配水池の容量不足により整備できない状況ですが、来年度には焼山地区に五百立方メートルの配水池を整備することとしていますが、その上で消火栓を整備していきたいと考えています。



消火栓の整備が望まれる十和田湖温泉郷

### 東小学校の特別教室床、 早急な改善を

**議員** 東小学校理科室の床は凸凹が激しく危険であり、かつては文部科学省からも指摘を受けていたという。現状で事故があれば訴えられてもおかしくない。早急に改善すべきと考えるが、どのように考えているのか。

**教育部長** 東小学校は昭和五十四年に建築され、校舍建築に当たり、一つの工法として、理科室及び家庭科室のガス配管を床面に設置し、その配管部分を鉄板でスロープ状に覆いかぶせています。利用には安全面からも不安があることは認識しているため、今後ガスの利用状況等を確認し、また学校側の意向も踏まえた改修の工法等も検討し、できるだけ早急に対応していきたいと思えます。

### 住宅リフォーム助成事業 の利用状況は

**議員** 住宅リフォーム助成事業の利用状況はどうか。

**観光商工部長** 当該助成事業の利用状況は、八月三十一日現在で助成金の交付申請件数は十件、申請額は百五十一万七千円で、予算額五百万円に対する執行割合は三〇・三四%となっています。